

人間植物関係学特論 (2単位)

担当者氏名 宮本 太・小池 安比古・御影 雅幸・三井 裕樹

◆学習・教育目標 (到達目標を記載)

地球上に生命が誕生して 35 億年、そして陸上に植物が出現して 4 億年が経過している。その植物は、地球環境に様々な恩恵をもたらし、豊かな自然環境を作り出してきた。しかし、人類を取り巻く環境は、日増しに悪化する一方である。特に自然環境を取り巻く状況は、人間活動による開発、地球温暖化、オゾン層の破壊などにより加速的に進み、それに伴う食料危機や健康問題も深刻である。本科目では、自然環境の持続的な管理と利用に関する知識と手法を学び、また植物と人間との関係の歴史的発展過程と植物との関わりから得られる福祉的効用について理解する。これにより人と植物との豊かな関係性について考え、両者がどのように共生していくべきかを提案できるようにする。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

<u>自然環境</u>	<u>生物多様性</u>	<u>自然と文化</u>	<u>植物共生</u>
<u>環境保全・保護</u>	<u>人間植物関係学</u>	<u>薬用植物</u>	<u>園芸学</u>

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	種(species)とは	生物多様性について (担当: 宮本)	各自の研究課題について異なった側面から考え、新たな研究展開をはかる。 自然環境、生物多様性、人の生活、これらがどのように調和すればよいのか? どのような未来を作り出すことが必要なのかを各自の研究から考える。
2	生物多様性とは	なぜ生物多様性は必要なのか? (担当: 宮本)	
3	自然環境保全・保護	保全とは? 保護とは? (担当: 宮本)	
4	実践保全・保護活動	保全・保護には何が必要か? (担当: 宮本)	
5	植物の栽培と園芸化	植物と人とのかかわりの変遷について (担当: 小池)	
6	園芸植物とは	主な園芸植物の種類、特性とその利用 (担当: 小池)	
7	栽培の技術	植物を栽培するうえでの基本的技術 (担当: 小池)	
8	植物による環境創出	人の快適な暮らしを創出する植物 (担当: 小池)	
9	植物と文化	山菜・薬草・染料植物・万葉植物 (担当: 御影)	
10	薬用植物	日本の民間療法と薬用植物 (担当: 御影)	
11	野生資源の現状	野生薬用資源の利用と現状 (担当: 御影)	
12	薬用植物の栽培	薬草栽培の取り組みと今後の課題 (担当: 御影)	
13	日本の植物保全	日本列島の植物多様性と保全の現状 (担当: 三井)	
14	保全生態・遺伝学理論	生物保全の生態・遺伝的捉え方を理解 (担当: 三井)	
15	保全生態・遺伝学実践	実践的な保全研究の事例紹介 (担当: 三井)	

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所 (発行年)

教科書は特に指定しない。参考書:、資料を紹介する

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所 (発行年)

バイオセラピー学入門 (講談社)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

レポートおよび発言・発表内容による評価

◆オフィスアワー

宮本 御影 三井 水曜日 (12:00 から 13:00)、小池 (月曜日 12:30~13:30)

◆その他受講上の注意事項